

単元目標		<p>○ 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて 大観し理解する。①</p> <p>○ 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。②③④</p> <p>○ 「地球的課題はなぜ起こり、どのような解決の方向性が考えられるだろうか」について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。⑤⑥⑦⑧⑨</p> <p>○ 地球的課題と国際協力について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。⑩</p>		
第一次	様々な地球的課題	① / 10	<p>世界各地で見られる課題</p> <p>【単元全体に関わる問い（学習課題）】 「地球的課題はなぜ起こり、どのような解決の方向性が考えられるだろうか」 ・単元全体に関わる問いの提示、現時点での学習者の考えを表現する活動 問い「地球的課題とはどのようなものなのだろうか」 ・様々な課題の調べ学習</p>	
			<p>地球的課題の傾向と相互関連</p> <p>問い「それぞれの課題に傾向性や課題相互の関連性はあるのだろうか」 ・調べた結果を基に、傾向性と相互関係を整理</p>	
第二次	☆事例学習 地球的課題の深刻性と対応	② / 10	<p>【自然システムのアプローチ】 熱帯林の減少</p> <p>問い「熱帯林の減少に対してどのような対策がとられているのだろうか」 ・熱帯林の減少による人間生活への影響と、各国の取組</p>	SDGs #15 陸の豊かさを守ろう
		③ ④ / 10	<p>【社会・経済システムのアプローチ】 資源・エネルギー問題</p> <p>問い「エネルギーの枯渇に対してどのような対策がとられているのだろうか」 ・様々なエネルギー源 ・エネルギーの枯渇による人間生活への影響と、各国の取組</p>	SDGs #7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
第三次	⑤【研究授業】 ☆自由進度学習 持続可能な地球的課題の解決	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ / 10	<p>問い「世界には飽食を可能とする人々がいる一方で、なぜ飢餓や栄養不足に悩む人々がいるのだろうか。また、どのように克服すべきか」</p> <p>・課題の深刻性と、解決によって人類が得られる価値 ・仮説の設定 ・仮説を検証するための情報収集 ・調査結果の整理 ※協働の重視、協働方法及びタイミングの設定は学習者の裁量</p>	SDGs #2 飢餓をゼロに SDGs #1 貧困をなくそう SDGs #10 人や国の不平等をなくそう
第四次	より良い社会の実現に向けて私たちがすべきこと	⑩ / 10	<p>【単元全体に関わる問い（学習課題）】 「地球的課題はなぜ起こり、どのような解決の方向性が考えられるだろうか」 ・単元全体に関わる問いの解の表現 ・学習活動のモニタリング</p> <p>新たな問い「SDGsを妨げるものは何か。私たちがすべきことは何か」 ・新たな問いの解の表現 ・他者との議論による解の修正</p>	

- 1 単元名 「地球的課題と国際協力」
- 2 単元の目標及び単元の学習計画 (別紙の通り)
- 3 本次 (第三次: 5時間)

「地理総合」授業案	日時: 2024年12月18日 (水)	生徒: 1学年 (40名)
	教室: 4階 視聴覚教室	授業者: 山岸 皇

(1) 本次の目標

- ・「世界には飽食を可能とする人々がいる一方で、なぜ飢餓や栄養不足に悩む人々がいるのだろうか。また、どのように克服すべきか」について、自然システム的アプローチと社会・経済システム的アプローチの両側面から、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・地球的課題と国際協力について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

(2) 学習の展開

	学習項目	学習者の活動	学習形態	授業者から学習者への働きかけや支援	評価規準 (評価材)	
導入	本次の問い (学習課題) の確認 (学習の見通し)	<p>問い「世界には飽食を可能とする人々がいる一方で、なぜ飢餓や栄養不足に悩む人々がいるのだろうか。また、どのように克服すべきか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を精読し、飢餓や栄養不足に悩む人々が存在することの深刻さを捉える。 ○ 5時間で取り組む学習課題と学習活動を確認する。 	一斉 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を学習者に提供する。 ・「学習の手引」を学習者に提供する。協働的な学びの重要性を強調する。 		
展開	<p>自由進度学習</p> <p>5時間で、問いの解を形成する。</p> <p>事例地域の設定、追求方法、収集する情報や、協働の方法とタイミングの選択・判断・決定は、学習者に委ね、主体的に課題を追求し、自己調整しながら学習を進める。</p> <p>学習者が、孤立した学びに陥らないよう他者と協働 (参照、比較、相談、質問、意見交換、議論等) しながら学習を進める。</p>	<p>○ 仮説の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食料偏在の原因と対策」の仮説 (...だから、こうすれば...となるはず) ・解決することの価値 「どのような人々が、どうなる」 ・仮説をスプレッドシートに記入 <p>○ 仮説の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例とする地域を設定 ・設定した仮説が正しいことを示す (根拠となる) 資料を収集 ・収集した資料名をスプレッドシートに記入 <p>○ 調査結果の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料を整理し、仮説の正当性を示す資料をスライドで作成 ・結論をスライドに記入 	<p>学習者裁量</p> <p>スプレッドシートで学習者一人一人の状況を把握し、支援が必要な生徒に対して即時的に対応する。 (以下、想定される学習者の状況と、それに対応するための授業者の支援)</p> <p>仮説の意味や表現方法がわからず、学習活動のスタートが切れない、手が動かない。</p> <p>「食料生産が少ない」という浅い思考による仮説の設定にとどまってしまう。</p> <p>「先進国が支援する」等の抽象的な表現にとどまってしまう。</p> <p>どのサイトにアクセスすれば、必要な情報を収集できるかが見いだせず、活動が停止してしまう。</p> <p>ブログや文責がけないもの等、情報の確実性に欠けたサイトや、生成AIを安易に使用している。</p> <p>協働的な学びを選択したが、他者に依存しすぎてしまい、個人の学びが成立していない。</p> <p>経済力が高い=飽食、経済力が低い=飢餓という浅い思考による結論にとどまってしまう。</p> <p>資料をコピー&ペーストしたものにとどまってしまう。</p>	<p>学習者裁量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者参照を勧める。 ・表現方法のフォーマットを提示する。 「食べ物にアクセスする権限がない」ことを示す資料 (アマルティア・セン) を提供する。 「先進国とはどの国を指すのか」「支援してもなお飢餓が発生するのはなぜか」等具体的な表現となるように、壁打ち役となる。 類似事例に取り組む学習者の動きを参考に等、積極的に他者参照するよう促す。 参考文献は何か、どういった機関が出している情報なのか等について、確認することの重要性を伝える。 資料の検索、精査、他者の資料参照、スライドの作成等、集団の中で個人が果たす役割や責任を明確にするよう促す。 ・授業者との壁打ち (授業者との協働的な学び) を行うことで、学習者の思考が深まるようガイドする。 ・資料 (アマルティア・セン) を提供する。 複数の資料を比較する、第三者の意見を反映させる等、批判的に使用するよう促す。 	<p>【思】 スプレッドシート及びスライド記載内容</p>
終末	本次の問いの解 (学習課題の振り返り)	<p>問い「世界には飽食を可能とする人々がいる一方で、なぜ飢餓や栄養不足に悩む人々がいるのだろうか。また、どのように克服すべきか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のプロセスを振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションシートを提供する。 		